

新型コロナウイルス感染症流行下で慢性閉塞性肺疾患（COPD、肺気腫）  
患者の皆様にご注意していただきたい点（自宅で行える運動の推奨）

2020年8月25日

一般社団法人日本呼吸器学会 閉塞性肺疾患学術部会長 柴田陽光

一般社団法人日本呼吸器学会 理事長 横山彰仁

新型コロナウイルス感染症流行によりまして、皆様にはステイ・ホームが提唱されております。それに伴いまして、患者の皆様において、日々の身体活動量が低下してしまうことが、心配されております。ご高齢者の多いこの病気においては、身体活動量の低下は症状を悪化させ、入院のリスクを高めることにつながります。つまり身体活動量を維持することは、極めて大切な注意点であります。ステイ・ホームを保ちながら、自宅での軽度な運動（立位保持、足踏み、階段歩行、ラジオ体操など）をできる範囲で行うことで、『ステイ・アクティブ』も実践するようお願いいたします。